

日医発第 1342 号（技術）
令和 8 年 10 月 6 日

都道府県医師会担当理事 殿

公益社団法人日本医師会
常任理事 加藤 豊
(公 印 省 略)

令和 8 年度臓器移植普及推進月間及び臓器移植推進国民大会
の実施について

平素より、本会会務にご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

臓器移植は、臓器の機能が著しく低下し、移植によってのみ、その回復が見込まれる人に対して行う医療で、臓器提供者はもとより、広く社会の理解と支援があって成り立つ医療です。日本では、現在移植を希望されている方はおよそ 17,000 名ですが、一年間に臓器を提供される方は約 170 名、移植を受けることができる方はわずか 600 名と諸外国に比べ非常に少ない状況です。

臓器移植の一層の定着及び推進を図るためには、より多くの方々に臓器移植に対する理解を深め、臓器提供に関する意思表示をしていただくことが極めて重要です。そこで毎年 10 月を「臓器移植普及推進月間」として、広く国民に対する普及啓発を行うこととしております。

今般、令和 8 年度臓器移植普及推進月間（10 月 1 日～同月 31 日）及び第 27 回臓器移植推進国民大会（10 月 18 日（日）、新潟県）※について、別添のとおり実施することとなり、厚生労働省より本会に対し周知方依頼がありました。

※大会特設サイト：

<https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/kenko/zoukiishoku080910.html>

※大会チラシ：

https://www.pref.niigata.lg.jp/uploaded/life/853742_2772089_misc.pdf

つきましては、貴会におかれましても、本件についてご了知いただきますとともに、貴会管内の関係各所にご周知くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

第27回 臓器移植推進国民大会

あなたの想いは、 誰かの希望に

～臓器移植を自分ごとに、もっと身近に～

2026年

10月18日(日)

13:30～16:30(13:00開場)

会場 朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター
4階 国際会議室 〒950-0078
新潟市中央区万代島6-1



会場アクセス

ゲスト 水谷 緑氏 (漫画家)

医療・福祉・心理をテーマに、人の心の揺れや現場のリアルを丁寧に描く作風で知られる。研修医の日常を描いた『まどか26歳、研修医やってます』(KADOKAWA刊)はテレビドラマ化され話題を集めた。専門性の高いテーマを、温かくわかりやすい視点で表現することに定評がある。



お申込み方法

参加無料

締切/10月14日(水) 定員/500名(先着)

来場参加をご希望の方は、右側の二次元コードよりお申込みください。
※応募状況により当日の参加も可能です。



視聴
無料

WEB配信はこちら

Zoomで全国どこからでも大会を
ご覧いただけます。※申込み不要。



お問い合わせ先

第27回臓器移植推進国民大会運営事務局 (新潟日報メディアネット内)

〒950-1179 新潟市西区善久772番地2 新潟日報社黒崎本社内

TEL 025-383-8025(土日祝日を除く10:00～17:00)

※個人情報保護法に基づき、応募多数の場合、抽選に漏れた方への通知のために利用いたします。
なお個人情報については事務局が責任を持って管理し、第三者に開示することはありません。

主催/厚生労働省、新潟県、(公社)日本臓器移植ネットワーク、(公財)日本腎臓財団、(公財)新潟県臓器移植推進財団

後援/(公社)日本医師会、(公社)日本透析医会、文部科学省、日本放送協会、(一社)日本民間放送連盟、(一社)日本新聞協会、(公社)ACジャパン、(公社)健康・体力づくり事業財団、(公社)日本看護協会、(一社)全国腎臓病協議会、(一社)日本腎臓学会、(一社)日本透析医学会、(一社)日本移植学会、(公財)日本アイバンク協会、NPO法人日本移植者協議会、NPO法人腎臓サポート協会、(一社)中部日本臓器提供支援協会、(一社)新潟県医師会、(一社)新潟市医師会、(一社)新潟県歯科医師会、(一社)新潟市歯科医師会、新潟県病院協会、新潟大学医学部総合病院、長岡赤十字病院、(公社)新潟県薬剤師会、(一社)新潟市薬剤師会、(公社)新潟県看護協会、新潟県ライオンズ・アイバンク協議会、アルファグループ、新潟県教育委員会、新潟市、新潟県市長会、新潟県町村会、新潟県透析医学会、新潟県移植者の会、新潟県腎友会、FM新潟77.5、新潟日報社、朝日新聞新潟総局、毎日新聞新潟支局、読売新聞新潟支局、産経新聞新潟支局

第27回 臓器移植推進国民大会プログラム

13:30～

開会・黙とう・主催者挨拶

13:45～

「臓器移植ってどんな医療？」 齋藤 和英 氏

14:00～

高校生による研究発表（県立三条高校・県立新潟高校）

14:15～

クロストーク

『『まどか26歳、研修医やってます』
漫画家・水谷緑氏と語る臓器移植』

水谷 緑 氏 × 臓器移植コーディネーター 赤川 美穂 氏（新潟県臓器移植推進財団）

14:45～

厚生労働大臣感謝状贈呈式

15:05～

休憩

15:15～

高校生による書道パフォーマンス（東京学館新潟高校）

15:30～

トークセッション

「臓器移植に関わる人たちのそれぞれの想い」

救急医／宮島 衛 氏（長岡赤十字病院）

救急医／富田 大祐 氏（済生会新潟県中央基幹病院）

看護師／竹内 真也 氏（長岡赤十字病院）

臓器提供家族／山田 美鈴 氏（旧姓：原澤）

脾臓・腎臓同時移植者／伊藤 結香 氏

移植医／田崎 正行 氏（新潟大学医歯学総合病院）

MC／ヤン 氏（FM新潟パーソナリティ）

16:15～

今後への展望

西山 慶 氏

山本 卓 氏

16:25～

閉会

司会進行・
ファシリテーター

FM新潟パーソナリティ

大海 玲子 氏



齋藤 和英 氏

新潟大学大学院医歯保健学研究科腎泌尿器病態学分野准教授。移植医療センター部長・移植認定医として長年移植医療を牽引している。

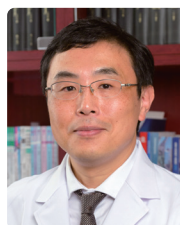


東京学館新潟高校

トークセッション
MC

FM新潟パーソナリティ

ヤン 氏



山本 卓 氏

新潟大学大学院医歯保健学研究科腎研究センター腎・膠原病内科学分野教授。腎臓病・透析医療を専門とし、腎移植医療の質の向上に尽力している。



西山 慶 氏

新潟大学大学院医歯保健学研究科救急集中治療医学分野教授。日本救急医学会 脳死・臓器移植に関する委員会に携わり、移植医療の発展に寄与している。

会場イベント（12:30～17:00）

臓器提供意思表示カード記入コーナー

「いのち」のことを話し合うきっかけに

臓器移植とは、病気や事故で臓器の機能が低下し、移植でしか治らない人に、他の人の臓器を移植し、健康を回復する医療です。このコーナーで、ご家族と「いのち」や「移植」について話し合うきっかけとして、臓器提供意思表示カードにご自身の思いを記入してみませんか。



意思表示
アンケート
ボードへの
投票で

グリーンリボンピンバッジ贈呈

意思表示アンケートボードに投票いただいた方を対象に「グリーンリボンピンバッジ」を贈呈します。



限定公開！

漫画家・水谷緑氏によるスペシャルストーリー

「まどか、
いのちのリレーに
向き合う編」
特別パネル展示



©Midori Mizutani

メッセージウォール&フォトスポット

臓器移植について感じた気持ちを自由に書いて、メッセージウォールを彩りませんか。メッセージウォールを背景に写真撮影も楽しめます。

お問い合わせ先

第27回臓器移植推進国民大会運営事務局（新潟日報メディアネット内）

〒950-1179 新潟市西区善久772番地2 新潟日報社黒埼本社内

TEL 025-383-8025（土日祝日を除く10:00～17:00）

※個人情報応募多数の場合、抽選に漏れた方への通知のために利用いたします。
なお個人情報については事務局が責任を持って管理し、第三者に開示することはありません。

臓器提供の
意思表示に
ご協力ください

臓器提供に関する意思は、マイナンバーカード・運転免許証の
意思表示欄、臓器提供意思表示カードに記入・携帯するか、
インターネットで登録しましょう。

臓器移植に関するお問い合わせ

公益社団法人 日本臓器移植ネットワーク

0120-78-1069 www.jotnw.or.jp 臓器移植 検索

厚生労働省発健生 0908 第 7 号
令和 8 年 9 月 8 日

公益社団法人日本医師会 会長 殿

厚生労働事務次官
(公 印 省 略)

令和 8 年度臓器移植普及推進月間及び臓器移植推進国民大会
の実施について

標記について、別添 1「臓器移植普及推進月間実施要綱」及び別添 2「臓器移植推進国民大会概要」により実施することとなりましたので、格段の御配意をお願いいたします。

なお、この月間及び国民大会に対し、地方における貴下関係機関の御協力が得られますよう、特段の御配意を併せてお願い申し上げます。

令和 8 年度臓器移植普及推進月間実施要綱

1 趣 旨

臓器移植は、臓器の機能が著しく低下し、移植によってのみ、その回復が見込まれる人に対して行う医療で、臓器提供者はもとより、広く社会の理解と支援があって成り立つ医療である。このような移植医療の適正な実施に資することを目的として、「臓器の移植に関する法律」が平成 9 年 10 月に施行されて以来、脳死下及び心臓が停止した死後における臓器移植が逐次行われ、一定の実績を積み重ねてきているが、平成 22 年の改正法施行後においても臓器提供事例は、顕著な増加を示していない。

今後、臓器移植の一層の定着及び推進を図るためには、より多くの方々に臓器移植に対する理解を深め、臓器提供に関する意思表示をしていただくことが極めて重要であることから、「臓器移植普及推進月間」を設け、広く国民に対して、普及啓発を行うものとする。

2 主 催

厚生労働省、各都道府県、（公社）日本医師会、（公社）日本臓器移植ネットワーク、（公財）日本腎臓財団、（公社）日本透析医会

3 後 援

文部科学省、日本放送協会、（一社）日本民間放送連盟、（一社）日本新聞協会、（公社）ＡＣジャパン、（公財）健康・体力づくり事業財団、（公社）日本看護協会、（一社）全国腎臓病協議会、（一社）日本腎臓学会、（一社）日本透析医学会、（一社）日本移植学会、（公財）日本アイバンク協会、ＮＰＯ法人日本移植者協議会、（一社）中部日本臓器提供支援協会

4 実施期間

令和 8 年 10 月 1 日（木）から同月 31 日（土）まで

5 重点目標

- (1) 臓器不全の根治療法である臓器移植について、理解を深めていただくとともに、できるだけ多くの人々が臓器提供に関する意思表示を行っていただくよう広く国民に呼びかける。
- (2) 国民への啓発とあわせて、各地域においては、関係機関の協力により臓器移植体制の整備・強化を図る。
- (3) 健全な日常生活を営むために疾病予防の重要性を国民に認識してもらう。

6 推進月間の標語

「いのちへの優しさとおもいやり」

上記の他、関係団体において適宜定めるものとする。

通知文書・ポスター・チラシ等に本標語を記載する、テレビ・ラジオ等にて呼びかける際に本標語と併せて告知するなどの活用を推奨する。

7 実施行事等（予定）

(1) 臓器移植普及推進月間の周知

臓器移植普及推進月間を国民一般に周知させるため、ポスター・パンフレット等を作成し、関係団体などに配布する。

(2) 大会の開催等

ア．臓器移植を推進するための全国民に向けた大会を開催する。

臓器移植推進国民大会（令和8年10月18日（日）新潟県）

イ．各地域において、月間の趣旨に沿った集会、講演会などを実施する。

(3) 報道機関との連携

インターネット、ラジオ、新聞等報道機関の協力を得るとともに、都道府県広報紙、関係団体の機関紙の活用を図り、臓器移植推進に関する広報を実施する。

第 27 回 臓器移植推進国民大会概要

1. 目 的

臓器移植についての理解を深めるとともに、臓器移植に関する意思表示をしていただくよう呼びかけること等により、我が国における臓器移植の一層の定着推進を図る。

2. 主催

厚生労働省、新潟県、(公社) 日本臓器移植ネットワーク、(公財) 日本腎臓財団、(公財) 新潟県臓器移植推進財団

3. 後援

文部科学省、(公社) 日本医師会、(公社) 日本透析医会、日本放送協会、(一社) 日本民間放送連盟、(一社) 日本新聞協会、(公社) AC ジャパン、(公財) 健康・体力づくり事業財団、(公社) 日本看護協会、(一社) 全国腎臓病協議会、(一社) 日本腎臓学会、(一社) 日本透析医学会、(一社) 日本移植学会、(公財) 日本アイバンク協会、NPO 法人日本移植者協議会、特定非営利活動法人腎臓サポート協会、(一社) 中部日本臓器提供支援協会

4. 期日・会場

令和 8 年 10 月 18 日 (日)

朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター (新潟市中央区万代島 6 番 1 号)

5. 大会内容

- ・移植医療功労者および施設に対する感謝状贈呈、臓器提供をされた方に対する追悼
- ・移植医療に関する一般向け講演
- ・学生によるパフォーマンス
- ・トークセッション 他